

第10章

各種資料

《前年度からの主な変更点》

ページ	変更内容	令和5年度版	令和4年度版
171 ～172	提供施設の沿革 令和4～5年度の事項追記	(省略)	—

基地の変遷

年	月	日	内 容
1883	M16.	08.	軍艦「第二丁卯」、佐世保港測量のため来港
1886	M19.	05. 04	佐世保海軍鎮守府設置公布
1889	M22.	07. 01	佐世保海軍鎮守府開庁
	M22.	08.	前畑火薬庫新設
1893	M26.	05. 08	鎮守府上陸場新設
1895	M28.	08. 30	第1号船渠（現第5ドック）竣工
1897	M30.	10.	佐世保要塞砲兵連隊設置
1898	M31.	01. 13	佐世保駅開業
1899	M32.	01. 19	海軍中将 東郷平八郎佐鎮長官となる
1902	M35.	04. 01	市制施行
1903	M36.	12. 10	九州鉄道 佐世保駅～工廠内軌道連絡完成
1905	M38.	09. 12	軍艦「三笠」 佐世保港内で爆沈
1909	M42.	12. 15	矢岳練兵場竣工
1911	M44.	10. 28	倉島地区の岩礁を埋め立て、倉島を陸地に持続させる工事始まる
1912	M45.	03. 15	向後崎信号所を廃し、弓張信号所を設置
1913	T 02.	01. 31	平瀬埋立工事竣工
		09. 30	倉島の埋築工事竣工
		10.	佐世保に初めて重油タンクできる
1914	T 03.	09.	崎辺に佐世保海軍航空隊新営工事着手（～T. 9） （横島、久木島、大森島、飛島を切り崩し、海面を埋め立てた）
1915	T04.	06. 02	八幡谷の火薬庫爆発
1916	T05.	05.	相浦港湾改良工事竣工
	T05.		立神係船池竣工
1917	T06.	03. 12	佐世保海軍工廠で仏国駆逐艦建造起工
1920	T09.	12. 11	佐世保海軍航空隊開設
1922	T11.	05.	相浦港が指定港湾となる
		12.	針尾の海軍無線塔運用開始
1923	T12.	06.	佐世保海軍凱旋記念館開館（現市民文化ホール）
1924	T13.	03. 19	第43号潜水艦、佐世保港外で沈没
1926	T15.	05.	佐世保軍港の一部（駅裏一帯）が指定港湾となり、商港として発足
1935	S10.	03.	佐世保海軍航空隊敷地海面の埋立竣工
1939	S14.	03. 31	佐世保橋拡張工事竣工。海軍橋と改名
1941	S16.	11. 21	相浦第2海兵団開庁式
1943	S18.		針尾海兵団建設
1945	S20.	06. 29	米機空襲で市中心部焼失

年	月	日	内 容
		08.	佐世保海軍鎮守府解体
		09.	連合軍佐世保進駐
		11. 30	海軍省廃止
1946	S21.	06. 30	米海軍佐世保基地創設
		10. 01	佐世保船舶工業(株) (現佐世保重工業(株)) 設立
1948	S23.	01. 01	佐世保港が貿易港に指定
		05. 01	佐世保海上保安部設置
		10. 21	佐世保港が貯油港に指定
1950	S25.	01. 13	佐世保市が「平和宣言」を行う
		04. 01	佐世保港が食糧輸入港に指定
		05.	立神臨港鉄道線開通
		06. 04	旧軍港市転換法住民投票実施 (6.28 制定)
		06. 25	朝鮮動乱勃発。この頃、港湾施設を米軍に再接収される
		07. 15	ジョスコ線使用開始
		09. 04	警察予備隊針尾駐屯部隊開隊
		10.	向後崎防潜網設置
1951	S26.	01. 19	佐世保港が重要港湾に指定
1952	S27.	03.	日米行政協定により米海軍基地に指定
		08. 01	市が港湾管理者となる
1953	S28.	09. 16	警備隊佐世保地方隊新編 (干尽町の旧防備隊跡)
1954	S29.	07. 01	自衛隊発足
1955	S30.	08.	相浦米軍キャンプ (旧相浦海兵団) 返還
		10. 21	陸上自衛隊相浦駐屯地発足
		10. 28	第4ドック返還
		11. 15	向後崎防潜網撤去開始 (11.23 終了)
1957	S32.	09.	陸上自衛隊針尾駐屯部隊閉鎖
1960	S35.	03.	佐世保港が飼料指定港となる
1961	S36.	07. 20	ジョスコ線一部返還 (SSK 東門～SSK 本館までの約 400m)
1962	S37.	07. 10	SSK で当時世界最大のタンカー「日章丸」進水
1963	S38.	09. 23	佐世保港水域協定締結 (閣議決定)
1964	S39.	08. 28	佐世保市放射能安全対策本部設置
		11. 12	米国原子力潜水艦「シードラゴン」が佐世保にわが国初となる寄港
1965	S40.	05.	鯨瀬埠頭完成
1966	S41.	09.	名切谷正式返還調印
		11. 01	米国ニューメキシコ州アルバカーキ市と姉妹都市提携

年	月	日	内 容
1968	S43.	01. 19	米国原子力空母「エンタープライズ」入港 (01.23 出港)
		03. 31	海自佐世保総監部庁舎完成 (現在地)
		04. 26	海自防衛資料館開館 (佐世保補給所内)
		05.	米原潜「ソードフィッシュ」の放射能異常問題起こる
		08. 13	第3ドック返還
1969	S44.	04. 01	市道佐世保相浦循環線 (SSK バイパス) 開通
		04. 25	提供施設の名切谷が正式返還
		08.	前畑外貿埠頭一部完成
		10.	SSK 佐世保造船所で 40 万トンドック完成
1970	S45.	08.	米工作艦「エイジャックス」が本国へ引き揚げ
1971	S46.	03.	前畑外貿埠頭の岸壁完成
		10.	「佐世保港の長期総合計画」を策定し、これを付属資料とした「基地返還陳情書」(6 項目の米軍基地返還を求める内容)を提出
		11. 03	佐世保港沖で海自観艦式が挙行される。
1972	S47.	03. 28	「米軍基地返還活用対策特別委員会」設置
		06. 15	市議会で返還 6 項目の決議
		08.	佐世保港が米第 7 艦隊の補給基地に指定される
1973	S48.	03.	米海軍佐世保基地で米軍タンカー爆発
		06. 01	五者連名で 100 万トンドック建設のため崎辺地区の早期返還を陳情
		06. 19	崎辺地区即時返還要求市民会議結成
		07. 17	防衛施設庁が崎辺返還問題を日米合同委員会施設特別委員会へ提案
1974	S49.	02. 07	日米合同委員会で条件付崎辺返還合意
		10.	ラロック発言
		10. 03	崎辺返還に絡み、市、佐世保市漁協、SSK が漁業補償調印
		12. 26	崎辺地区返還調印
1975	S50.	05. 23	米海軍佐世保基地の縮小発表
		12. 18	第 3 補給戦隊フィリピン移駐発表
1976	S51.	02.	SSK がオイルショックにより 100 万トンドックの建設断念
		05. 20	第 1 ドック返還、第 2 ドック米軍と海自共同使用が日米合同委員会で合意
1976	S51.	07. 01	米海軍佐世保基地が、「米海軍佐世保弾薬廠」に整理縮小
		10. 01	防衛施設の集約について国に陳情
1978	S53.	10. 16	原子力船「むつ」入港
1979	S54.	07. 09	原子力船「むつ」入港から 9 ヶ月ぶりドック入り
1980	S55.	07. 01	米海軍佐世保弾薬廠が「米海軍佐世保基地」に復活
		10. 27	海自佐世保地区病院が開院
		11. 22	当時の中川科学技術庁長官が「むつ」視察

年	月	日	内 容
1981	S56.	04. 23	浦頭新港建設の一期工事完了
		05. 06	「米軍基地返還活用対策特別委員会」が「基地等対策特別委員会」へ名称変更
		08. 31	「むつ」出港
		10. 08	米原潜「ウィリアム・H・ベイツ」が9年ぶりに佐世保へ入港
1983	S58.	03. 11	在日米海軍、日本政府が原子力空母「エンタープライズ」の佐世保寄港を正式発表
		03. 21	「エンタープライズ」入港 (03.25 出港)
		05. 10	ジョスコ線一部返還 (佐世保駅～現青少年教育センターまでの約550m)
		10. 01	原子力空母「カールビンソン」入港 (10.05 出港)
1985	S60.	07. 05	崎辺地区東側半分と針尾工業団地の一部を米軍に提供することを日米合同委員会で合意
		07. 12	崎辺地区東側半分と針尾工業団地の一部を米軍に提供することを閣議決定
		12. 18	国は市に、海上自衛隊針尾弾薬庫新設に係る市有地譲渡依頼 (約72,000 m ²)
1986	S61.	04. 21	市は、海上自衛隊針尾弾薬庫新設について、国へ見返り要請
		08. 18	崎辺地区東側を米軍へ引き渡し
		12. 19	市議会基地等対策特別委員会が海自針尾弾薬庫3棟着工と1棟の61年度内契約を承認
1988	S63.	02. 22	国から市に、「佐世保港防衛施設関連問題協議会」を早急に設置する旨の通知
		06. 08	佐世保港防衛施設関連問題協議会設置
1989	H01.	12. 21	「地球環境保全・平和都市宣言」を市議会で採択
1990	H02.	03. 04	「カールビンソン」入港 (03.06 出港)
		04. 18	弾薬運搬船「オーストラルレインボー」入港し、61番ブイに多数の弾薬コンテナを海上に係留
		06. 12	市は国に、米軍船越医療器材倉庫建設について一時中止申入れ
		07. 31	「佐世保港運営委員会」が22年ぶりに開催される
		08. 01	前畑崎辺道路建設に絡む、佐世保弾薬補給所内立ち入り測量実施
		08. 27	国から市に、米軍通信ケーブル敷設計画について協力依頼
1991	H03.	04. 08	米海軍佐世保基地内大学の長崎県民への開放調印式
		07. 05	「基地等対策特別委員会」が「基地対策特別委員会」へ名称変更
1992	H04.	01. 13	セントラル・テキサス・カレッジ佐世保分校開設
		01. 31	赤崎医療用倉庫完成

年	月	日	内 容
1992	H04.	06. 08	米軍通信ケーブル敷設完了（佐世保～沖縄間）
		07. 02	針尾米軍住宅追加提供（約 23,000 m ² ）が日米合同委員会で合意
		07. 21	米軍針尾島弾薬集積所における弾薬処理の際、近隣の住民に被害が出る
		08. 11	市及び住民の代表が、米軍船越医療用倉庫立ち入り調査
		08. 12	市は国に、針尾島弾薬集積所における弾薬処理基準の見直し等について要請
		09. 30	強襲揚陸艦「ベロー・ウッド」配備
		11. 03	ドック型揚陸艦「ジャーマンタウン」配備
		1993	H05.
09. 07	米軍針尾島弾薬集積所における弾薬処理の実態調査実施		
09. 16	立神 6 岸背後地（約 15,700 m ² ）の再提供が日米合同委員会で合意		
10. 25	メリーランド大学佐世保分校開設		
12. 13	弾薬処理の実態調査の結果をもとに市、福岡防衛施設局、米海軍佐世保基地との間で協議を行う		
1994	H06.	02. 22	ニミッツパーク内に米軍厚生施設（USO）が開館
		07. 16	空母「キティ・ホーク」入港（7.19 出港）
		07. 18	「キティ・ホーク」の随伴艦「フリント」の搭載艇（小型ボート）と漁船とが衝突
		09. 19	エア・クッション型揚陸艇（LCAC）の夜間航行により住民から苦情が相次ぐ
1995	H07.	02. 09	LCAC2 隻の運用テスト実施（立神岸壁～崎辺～立神岸壁）
		03. 23	ジュリエット・ベースン北西部の埋立地（約 26,000 m ² ）の提供が日米合同委員会で合意
		05. 31	ジュリエット・ベースン内の米軍防波堤（延長 205m）完成
		09. 30	ドック型揚陸艦「フォート・マクヘンリー」配備
		11. 29	前畑弾薬庫に隣接する地元 8 ケ町の公民館長らが市及び市議会に対し、「前畑弾薬庫移転促進」を陳情
1996	H08.	12. 18	市長及び市職員が前畑弾薬庫を視察
		01. 12	正副議長及び基地対策特別委員会が前畑弾薬庫を視察
		02. 01	掃海艦「ガーディアン」、「パトリオット」配備
		02. 14	佐世保市町内公民館自治会町内会連絡協議会（市公連）が市に対し「前畑弾薬庫返還促進」を陳情する
		02. 22	県及び市による「佐世保弾薬補給所（前畑弾薬庫）移転・返還促進連絡協議会」が発足する
03. 28	市議会で「前畑弾薬庫返還促進について」の請願を採択		

年	月	日	内 容
1996	H08.	07. 16	強盗殺人未遂事件発生 (07.20 日本側へ引き渡され逮捕)
		08. 06	市議会で「米軍人による事件の再発防止と補償の早期実現を求める意見書」を全会一致で可決
		10. 25	佐世保市町内公民館自治会町内会連絡協議会(市公連)が市及び市議会对し「前畑弾薬庫移転返還促進」について陳情を行なう
		11. 8	市議会で「前畑弾薬庫移転返還促進に関する意見書」を可決
		12. 3	ベロー・ウッド野崎沖の浮きドックで修理(～H09.04.02)
		12. 5	赤崎岸壁への送電線埋設工事(66,000v)完了
		12. 25	前畑弾薬庫跡地利用計画検討委員会を発足(～H09.12.24)
1997	H09.	03. 10	海上自衛隊佐世保史料館(セイルタワー)オープン
		04. 25	米海軍佐世保基地の一部について、都市計画用途を「工業専用地域」から「準工業地域」に変更
		07. 02	原子力潜水艦「ポーツマス」が無通報で出港
		10. 20	市・市議会、県・県議会、市公連、商工会議所の6団体(約40名)
		10. 21	で、在日米海軍、外務省、防衛施設庁等に対して、前畑弾薬庫移転・返還を要望
1998	H10.	06. 09	市・市議会・県・県議会・市公連・商工会議所の6団体(約40名)で外務省、防衛施設庁等に対して、前畑弾薬庫移転・返還を要望
		08. 11	「佐世保基地問題を考える議員懇談会」発足
		09. 01	県と市の「佐世保弾薬補給所(前畑弾薬庫)移転・返還促進連絡協議会」を「米軍佐世保基地対策連絡会議」に発展
		09. 30	市議会で返還6項目の見直しの決議
		11. 19	市は海上自衛隊の倉島地区での施設整備計画を承認
1999	H11.	02. 05	第22回旧軍港市国有財産処理審議会において、崎辺西側134,036.57㎡が佐世保重工業株式会社に対し、造船所敷地として売り払いすることが承認され、平成11年3月29日契約締結
		08. 30	「佐世保問題現地連絡協議会」設置(佐世保港防衛施設関連問題協議会は廃止)
2000	H12.	03. 01	3月定例市議会の初日、市長が前畑弾薬庫の移転先候補地を針尾島弾薬集積所と表明
2000	H12.	07. 11	旧軍港市振興協議会が旧軍港市転換法施行50周年記念式典を開催(於:東京)
		07. 26	強襲揚陸艦「エセックス」配備(同型艦「ベロー・ウッド」と交替配備)
		08. 31	陸上自衛隊西部方面総監部が、人員約660名規模の同方面隊普通科連隊を相浦駐屯地に配置すると発表

年	月	日	内 容
2000	H12.	11. 10	海上自衛隊が崎辺教育隊を主会場に「邦人等の輸送訓練（日米共同統合演習の一環）」を実施
		11. 11	
2001	H13.	01. 25	旧軍港市国有財産処理審議会が、市内松山町の国有地を旧軍港市転換法による公園敷地として無償譲渡することを答申
		02. 10	米ハワイ・オアフ島沖において、米原潜「グリーンビル」と愛媛県立宇和島水産高等学校の実習船「えひめ丸」との衝突事故が発生
		02. 26	米原潜「グリーンビル」と実習船「えひめ丸」の衝突事故に関し、市長が外務省に対し、より一層の対処と原因究明、また今後の安全確保の徹底につき要請
		04. 02	原子力潜水艦「シカゴ」の無通報入港（午前10時46分）
		04. 02	外務省地位協定室長が来保、市長に状況説明。引き続き市長が記者会見
		04. 04	原潜「シカゴ」の無通報入港問題につき市長が外務大臣と会見。「原因究明と改善策が確立され、一定の評価ができるまでは、米原潜の入港については遠慮されたい。」との考えを示す
		04. 23	市長が外務大臣と会見。原潜「シカゴ」の無通報入港問題につき、その原因及び今後の改善策について説明を受ける
		04. 24	日米両政府による共同プレス・ステートメント「合衆国原子力潜水艦の日本の港への寄港に関する措置」が発表される。同日、市長が共同プレス・ステートメントの内容につき、一定評価する旨コメントを発表
		06. 20	日米合同委員会において、県道俵ヶ浦日野線の道路改良にかかる地域（米軍赤崎貯油所の一部）の返還が合意される
		06. 27	「佐世保基地問題を考える議員懇談会」において、ジュリエット・ベースンの岸壁完成を前提に、またユーティリティの確保を条件として、新返還6項目のうちの3項目（①立神4・5岸と3岸の一部、②米軍赤崎貯油所約31,000㎡、③旧ジョスコ線）の返還について、米側の前向きな意向が確認できたことを防衛施設庁が明らかにする
		07. 03	市議会が新返還6項目の進展につき感謝決議
		09. 11	米国において同時多発テロ発生
		09. 21	国からの要請を受け、しばらくの間原潜寄港情報の対外公表を差し控える旨市長が発表（横須賀市、沖縄県も同様の措置をとることを発表）
		10. 29	テロ対策特別措置法が可決、成立（11. 2 公布、施行）

年	月	日	内 容
2001	H13.	11. 09	防衛庁措置法第 5 条 18 号（調査・研究）により、護衛艦 2 隻「くらま」、「きりさめ」、補給艦 1 隻「はまな」が佐世保港を出港
		12. 19	海上自衛隊針尾弾薬庫建設時の見返り事業として建設した、周辺 8 地区集会所の地元への無償譲渡が、市議会において可決
2002	H14.	02. 13	テロ対策特別措置法により、護衛艦「さわかぜ」が佐世保港を出港（2 月 12 日、同法により、舞鶴から護衛艦「はるな」、横須賀から補給艦「ときわ」が出港）
		03. 27	陸上自衛隊相浦駐屯地に西部方面普通科連隊が新たに編成
		04. 01	市制施行 100 周年
		06. 07	有事関連法案審議衆議院特別委員会の地方公聴会が本市で開催され、市長が意見陳述
		08. 16	米原子力空母「エイブラハム・リンカーン」入港（8/19 出港）
		09. 01	ドック型揚陸艦「ジャーマンタウン」が同型艦「ハーパーズ・フェリー」と交替
		09. 04	横須賀市長と連名で外務省へ市長が原潜寄港事前情報非公表措置の解除要請
2003	H15.	03. 20	米・英軍によるイラク攻撃開始（日本時間）
		04. 11	米兵による飲酒運転衝突事故発生。日本人 1 名死亡、1 名重傷（10/16 判決 業務上過失致死傷で 2 年 10 ヶ月の実刑）
		04. 28	長崎県環境影響評価条例に基づくジュリエット・ベースン環境影響評価書の公告・縦覧終了
		05. 02	ブッシュ大統領によるイラクでの戦闘終結宣言（日本時間）
		06. 06	「武力攻撃事態対処法」可決・成立（6/13 公布・施行）
		07. 15	「佐世保基地問題を考える議員懇談会」において、防衛施設庁が新返還 6 項目のうち既に米側の返還意向が明らかになっている 3 項目を含む 6 項目全てについて、具体的な取り組み方針を初めて文書で明示
		07. 26	「イラクにおける人道復興支援活動及び安全確保支援活動の実施に関する特別措置法（イラク特措法）」可決・成立（8/1 公布・施行）
		10. 10	改正テロ対策特別措置法（2 年間の期間延長）可決・成立（10/16 公布・施行）
		10. 22	ジュリエット・ベースン公有水面埋立承認願書に対し、港湾管理者が承認書を出す
2004	H16.	01. 17	米兵による婦女暴行事件発生（1/19 日米海軍佐世保基地司令官、1/22 外務省へ申し入れ）

年	月	日	内 容
2004	H16.	01. 23	F A C 5 0 2 9 ジュリエット・ベースンの埋立に係る水域約 5.8ha が返還
		04. 01	県道俵ヶ浦日野線の赤崎貯油所に係る部分の返還に先立って一部供用開始。(H16.03.11 日米合同委員会合意 2-4-a 共同使用)
		07. 12	横瀬 L C A C 施設整備のための公有水面埋立承認願書に対し、港湾管理者が承認書発出
		07. 28	米原子力潜水艦「ラ・ホーヤ」 ケーブル火災事故
		07. 30	赤崎貯油所内モニタリングポスト設置に係る共同使用 合同委員会合意 (H08.24 閣議決定、H08.26 政府間協定)
		08. 21	米原子力空母「ジョンC・ステニス」入港 (8/25 出港)
		09. 17	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律 (いわゆる国民保護法) 施行
		12. 21	新返還 6 項目のうち、立神港区の 3・4・5 岸の一部 (約 505m)、S S K が共同使用中の赤崎貯油所の一部 (約 3.1h a) 及びその前面海域 (約 3.7ha)、S S K 構内等の旧ジョスコ線敷き用地の 3 項目について、日米合同委員会返還基本的合意
		12. 28	F A C 5 0 3 9 横瀬 L C A C 施設整備のための埋立に係る水域約 6.1ha が返還
2005	H17.	01. 20	県道俵ヶ浦日野線の道路改良に係る赤崎貯油所の一部について返還 手続完了
		04. 01	赤崎貯油所内モニタリングポストの運用を開始
		04. 15	東浜地区漁業用施設整備に係る水域共同使用 約 3,300 m ² 日米合同委員会合意
		09. 18	陸上自衛隊相浦駐屯地で、相浦駐屯地創立 50 周年記念行事開催中、A H - 1 S 対戦車ヘリコプターが墜落
		09. 28	米海軍佐世保基地防犯連絡会議設置
		10. 04	日米合同委員会の下部機関である施設調整部会が設置され、佐世保地区における在日米軍施設・区域等について第一回目の会合を開催
		12. 19	第二回施設調整部会において、「前畑弾薬庫の移設・返還」について集中的に議論がなされ、具体的な移転先地として針尾島弾薬集積所の名前が明示
2006	H18.	01. 26	F A C 5 1 1 9 家族住宅等建設用地として、土地約 23,000 m ² が追加提供
		04. 12	ドック型揚陸艦「トーテュガ」が配備 (同型艦「フォート・マクヘンリー」と交代配備)、L C A C 1 増となる

年	月	日	内 容
2006	H18.	04. 14	第27回旧軍港市国有財産処理審議会において、「海上自衛隊西倉庫地区を福岡防衛施設局に対して所管換すること」及び「佐世保重工業株式会社に売払われた崎辺西側（約13.4ha）の指定用途を、修繕ドック・関連工場用地から船舶・鉄構製品塗装工場、製品・部材等置場へ変更すること」が付議（4/27承認）
		05. 25	米原子力空母「エイブラハム・リンカーン」寄港（5/25出港）
		07. 27	FAC5086 係留岸壁敷地として、土地約50㎡が追加提供
		10. 14	米兵による殺人未遂事件発生（懲役5年6ヶ月）
		10. 21	前畑弾薬庫敷地内で建物火災が発生、木作業所1棟（延面積約800㎡）が全焼
		11. 06	米空母「キティ・ホーク」寄港（11/9出港）
2007	H19.	02. 24	米原子力空母「ロナルド・レーガン」寄港（2/28出港）
		03. 26	第28回旧軍港市国有財産処理審議会において、「佐世保重工業株式会社が一時使用している赤崎貯油所の一部（約3.1ha）を合衆国政府に返還要求すること」及び「返還後、佐世保重工業株式会社に売払うこと」が承認
		06. 15	第3回施設調整部会開催。前畑弾薬庫の移転集約に係る針尾島弾薬集積所の整備概要公表
		09. 27	救難艦「セーフガード」退役 ※配備艦船7隻から6隻体制へ
		12. 07	FAC5029 西九州自動車道路建設に伴い、土地約7,600㎡、建物約1,600㎡を一部返還
2008	H20.	02. 11	米原子力空母「ニミッツ」寄港（2/15出港）
		03. 13	日米合同委員会において、赤崎貯油所の一部土地（SSKの一時使用地区）（約3.1ha）及びその前面水域（約3.8ha）の返還合意。
		06. 27	米軍関係者同士による婦女強姦致傷事件発生（禁固5年6ヶ月、重労働2ヶ月）
		07. 10	ドック型揚陸輸送艦「ジュノー」が同型艦「デンバー」に交替配備
		07. 24	日米合同委員会において、赤崎貯油所の一部土地返還に係る移設工事について合意。
		07. 28	米原子力空母「ロナルド・レーガン」寄港（8/1出港）
		08. 02	米原子力潜水艦「ヒューストン」における放射能漏洩事故発生の報道
		10. 27	米兵による佐世保港内への銃弾不正投棄事件発生（11/7基地司令官へ申し入れ）
2009	H21.	02. 26	海自金山弾薬庫の新設工事開始
		02. 27	米原子力空母「ジョン C.ステニス」寄港（3/3出港）

年	月	日	内 容
2009	H21.	03. 16	日米合同委員会において、赤崎貯油所における提供施設移設整備工事等に関して、施設整備が完了したことにより、合衆国政府に提供することについて合意。
		03. 17	「佐世保重工業株式会社が一時使用している赤崎貯油所の一部（約 3.1ha）及び前面水域（約 3.8ha）の返還手続完了
		04. 06	口木崎モニタリングポストの運用を開始
		04. 07	前畑弾薬庫の移設に関し、関係するすべての団体から「移転に関し協力する」との主旨の回答を得る。
		04. 23	市として国に対し、前畑弾薬庫の移設に関して、特段の意見がない旨を回答。
		06. 19	施設調整部会第 4 回会合で、今後、安全性の確保を最優先し、弾薬庫の移設事業の推進を図ること等について、日米間で認識が一致。
		07. 01	横瀬貯油所への L C A C 施設移転後における崎辺東側地区について、海上自衛隊として係留の施設整備等を推進されるよう国へ要請。
		10. 20	第 31 回旧軍港市国有財産処理審議会において、佐世保重工業株式会社が一時使用している赤崎貯油所の一部（約 3.1ha）の売払い価格について承認
		11. 30	上記土地について、国と佐世保重工業株式会社間で売買契約締結
		12. 16.	掃海艦「アヴェンジャー」、「ディフェンダー」が追加配備 （※配備艦船 6 隻から 8 隻体制へ）
2010	H22.	03. 09	いわゆる「密約」問題に関して岡田外務大臣が、調査結果について記者発表。併せて、同日日米地位協定室長が本市へ来訪し説明。
		03. 30	国からジュリエット・ベースンの埋立竣功通知が港湾部へ提出される（埋立面積 57,899.98 m ² 、岸壁延長 505m）。
		04. 05	いわゆる「密約」調査報告書を踏まえた今後の対応に関し、国に対し、市議会から意見書、市から質問書を提出
		04. 24	いわゆる「密約」問題に関する市議会の意見書、市の質問書に対し、岡田外務大臣が本市へ来訪し回答・説明。
		07. 29	いわゆる「密約」問題に関し、国に対し、市議会から要望を付した意見書、市から要望書を提出
		10. 01	立神岸壁 3・4・5 岸の一部について佐世保重工業(株)が国に取得要望書を提出
		10. 21	ジュリエット・ベースンの米軍への提供について日米合同委員会で承認
		12. 17	「平成 23 年度以降に係る防衛計画の大綱」に海上自衛隊の潜水艦を 16 隻から 22 隻に増隻する方針が盛り込まれる（閣議決定）

年	月	日	内 容
2010	H22.	12. 20	議会、経済界、行政の三者で「海上自衛隊潜水隊群の誘致に関する要望書」を防衛大臣等へ提出
2011	H23.	01. 17	前畑弾薬庫の移転・返還について日米合同委員会で合意
		04. 05	米原子力空母「ジョージ・ワシントン」寄港（4/6 出港）
		04. 12	米原子力空母「ジョージ・ワシントン」寄港（4/14 出港）
		04. 19	米原子力空母「ロナルド・レーガン」寄港（4/22 出港）
		04. 21	ドック型揚陸艦「ハーパーズ・フェリー」が同型艦「ジャーマンタウン」に交替配備
		05. 20	第 33 回旧軍港市国有財産処理審議会において、米軍に提供されている立神岸壁 3・4・5 岸の一部 505m と、その背後地約 4,600 m ² について、米国政府に対して返還要求するとともに、返還後は佐世保重工業株式会社へ売却することを承認
		09. 06	ニミッツパークに隣接する土地（国有地）約 8,000 m ² を、運動施設等の用地として、米軍に追加提供することについて日米合同委員会で合意
2012	H24.	03. 19	米原子力潜水艦「ノース・カロライナ」が、ヴァージニア級として佐世保初寄港
		03. 29	西海市横瀬地区に LCAC 新駐機場が完成
		04. 23	強襲揚陸艦「ボノム・リシャル」が配備（同型艦「エセックス」と交替）
		12. 19	横瀬 LCAC 施設の提供及び水域の変更について日米合同委員会で合意
2013	H25.	02. 01	横瀬 LCAC 施設の提供及び水域の変更について閣議決定、並びに LCAC 施設の提供手続きが完了
		02. 15	同年 1 月 17 日にフィリピン沖で座礁した掃海艦「ガーディアン」が、解体処理の上、退役及び除籍
		03. 05	LCAC が崎辺東側から横瀬 LCAC 施設に移転
		03. 26	陸上自衛隊相浦駐屯地において、第 3 教育団と福岡駐屯地所在の即応予備自衛官を主体とする第 19 普通科連隊により、西部方面混成団が新たに編成
		05. 02	同年 2 月に退役した掃海艦「ガーディアン」に替わり同型艦「ウォリアー」が配備
		06. 13	立神岸壁 3・4・5 岸の一部約 505m 及びその背後地約 4,720 m ² の土地について、日米合同委員会で返還合意
		08. 23	ドック型揚陸艦「トーテュガ」に替わり同型艦「アシュランド」が配備

年	月	日	内 容
2013	H25.	12. 24	防衛省が「平成 26 年度以降に係る防衛計画の大綱」(25 大綱)に基づき「水陸機動準備隊」(仮称)を陸上自衛隊相浦駐屯地に新編し、将来、今後新編される水陸機動団(仮称)に編入する予定である旨を発表
2014	H26.	02. 04	立神港区第 3 号岸壁の一部、第 4 号岸壁、第 5 号岸壁の一部約 505 m 及びその背後地約 4,720 m ² について返還完了
		03. 24	本市がこれまで要望していた潜水隊群誘致に対する回答を含め、崎辺東側地区の利活用並びに水陸機動団(仮称)配備に係る基本的な考え方について、武田防衛副大臣が本市へ来訪し説明
		05. 22	第 3 6 回旧軍港市国有財産処理審議会において、立神港区第 3 号岸壁の一部、第 4 号岸壁、第 5 号岸壁の一部及びその背後地の売却価格について承認
		07. 11	立神港区第 3 号岸壁の一部、第 4 号岸壁、第 5 号岸壁の一部及びその背後地について、国から佐世保重工業(株)へ売却
		07. 11	掃海艦「アヴェンジャー」、「ディフェンダー」に替わり、同型艦「パイオニア」、「チーフ」が配備
2015	H27.	02. 14	ドック型輸送揚陸艦「デンバー」に替わり、最新鋭艦「グリーン・ベイ」が配備
		03. 23	沖縄に配備されている米海兵隊の MV-22 オスプレイ 2 機が、赤崎貯油所に長崎県内で初めて飛来(「佐世保市へのオスプレイ飛来状況」は、P. 85 参照)
		03. 26	陸上自衛隊相浦駐屯地において、水陸機動団(仮称)を編成するための準備を行う水陸機動準備隊が発足
		08. 06	崎辺海軍補助施設(崎辺東側)について、日米合同員会で、既存の消防施設を赤崎貯油所に移設することを条件として、返還合意
		12. 11	崎辺西側について、佐世保重工業株式会社と国との間で、土地売買契約を締結
2016	H28.	03. 29	平和安全法制関連 2 法が施行
		07. 22	前畑弾薬庫の早期返還を目指し、本市の前畑弾薬庫跡地の利用の考え方を示すため、跡地利用構想の策定に着手(前畑弾薬庫跡地利用計画プロジェクトチームの設置)
		11. 08	前畑弾薬庫跡地利用構想検討有識者会議を設置
2017	H29.	03. 27	陸上自衛隊相浦駐屯地において、水陸機動準備隊の拡充、水陸機動教育隊の編成
		04.	市事業として前畑崎辺道路整備事業に着手(防衛省補助事業(8 条)として採択)

年	月	日	内 容
2017	H29	05. 26	「大規模災害時等に従事する隊員の家族支援に関する協定」の締結
		11. 07	L C A C の日没後の運用を含む訓練の実施（11月7日から9日までの3日間）。以降、断続的に同様の訓練が実施される。
		11. 29	前畑弾薬庫跡地利用構想検討有識者会議から「跡地利用に関する報告書」が提出
2018	H30.	01. 14	強襲揚陸艦「ボノム・リシャル」に替わり、同型艦「ワस्प」が配備
		03. 06	前畑弾薬庫跡地利用構想の完成（市議会全員協議会への報告）
		03. 27	陸上自衛隊相浦駐屯地を本部として、水陸機動団新編
		12. 18	合わせて、西部方面混成団が久留米駐屯地に移駐 「平成31年度以降に係る防衛計画の大綱について」（30大綱）において、護衛艦・掃海艦艇部隊2個群（13個隊）規模を整備することが示される。
2019	H31.	03. 26	崎辺西地区（以降、「西側・東側」を「西地区・東地区」と表記）に陸上自衛隊崎辺分屯地開設（水陸両用車を運用する戦闘上陸大隊等が配備）。
	R1.	05. 09	佐世保公園内で強襲揚陸艦ワस्प乗組員である米海軍水兵が、許可なく拳銃とみられる武器を基地外へ持ち出し所持したまま、自殺とみられる遺体で発見（5/13米海軍佐世保基地へ申し入れ）
		16	「米海軍佐世保基地の日本人警備員の基地の外での銃携行」について報道（同基地の日本人警備員が5月2日～9日頃、同基地警備隊の指示で、実弾入りの拳銃を携行したまま基地外の公道を歩行し、飛び地の車両検査場へ移動したもの）
		12. 01	ドック型輸送揚陸艦「ニューオリンズ」が追加配備
		12. 06	強襲揚陸艦「ワस्प」に替わり、強襲揚陸艦「アメリカ」が配備
2020	R2.	08. 28	崎辺海軍補助施設（崎辺東地区）の返還条件として、赤崎貯油所内への消防施設の追加提供を日米合同委員会で合意
2021	R3.	01. 25	崎辺海軍補助施設（崎辺東地区）が日本側へ返還
		02. 10	第42回旧軍港市国有財産処理審議会（書面開催）において、崎辺東地区の防衛省への所管換について承認
		03. 23	崎辺東地区について財務省から防衛省へ所管換
		03. 24	佐世保市議会が「佐世保港の長期総合計画」の改訂に関する提言書を提出
2021	R3	11 18	崎辺東地区（仮称）海自施設整備（用地造成等）開始
2022	R4	02 28	「佐世保港の長期総合計画」を廃止し、「佐世保市基地政策方針」を策定

令和5年8月末現在

白 紙